



江戸時代の岡山城を再現したVR動画を 岡山城天守にて上映開始します

令和4年にリニューアルオープンした岡山城では、魅力アップの一環として、江戸時代の岡山城全体を再現したVR動画を、新たな展示コンテンツとして上映開始します。天守のほか、今はない門や櫓、御殿など、当時の威容を、最新のCG技術によって鮮やかに蘇らせています。

1 公開日

令和8年7月3日(金)9時 ※既存の上映動画と交互に上映

2 場所

岡山城天守 1階 映像コーナー(北区丸の内二丁目)

開館時間:9時~17時30分(最終入館17時)、休館日:12月29日~31日

3 内容

- 制作趣旨…「歴史を伝える城、集う城」のコンセプトのもと、宇喜多秀家公が残した天守の姿と江戸時代最盛期の本丸の姿をデジタル技術により再現することで、城のさらなる魅力アップを図り観光誘客につなげることを目的としたもの。
- タイトル「魅せる城、岡山城ー天下人の風格が宿る名城ー」(14分35秒)
- 元禄時代(1688年~1704年ごろ)の「御城内御絵図」(ごじょうないおんえず)や「牙城郭櫓実測図(がじょうかくやぐらじっそくず)」(ともに岡山大学図書館蔵)をはじめ、戦前の古写真、本丸復元模型の設計図面などを根拠資料としました。なお、天守部分は、宇喜多時代(1600年ごろ)の姿も再現しました。
- 明治時代に破却された多くの門や櫓をはじめ、本段御殿や表書院、そして1945年の岡山大空襲で焼失した天守などを根拠資料に基づいて再現。VR技術を用いて、細部や遠景、俯瞰視点など様々な角度から描写しています。





- 動画は全5章

- 第1章「プロローグ」…現代の岡山城映像からタイムスリップ
- 第2章「権威の象徴・天守」…1597年の宇喜多秀家公時代の天守のほか、岡山城の大きな特徴である不等辺五角形の土台などを解説
- 第3章「継承される城下の拡張・発展」…西国街道や御後園(ごこうえん ※のちの岡山後楽園)の整備などを解説
- 第4章「最盛期の本丸」…1700年ごろの池田綱政公時代の本丸を再現
- 第5章「エピローグ」…岡山城全体と城下町の遠景を描写

※実際の映像は切れ目のない一連の映像として仕上げています。

今は残っていない門や櫓、屋敷などを高精細で再現した往時の威容は、見る人を圧倒する内容です。詳細は別紙にてご確認ください。

- 動画制作にあたっては以下の方に監修していただきました。

シナリオ監修… 磯田 道史 氏(歴史学者 国際日本文化研究センター教授)

城郭監修… 千田 嘉博 氏(城郭考古学者 名古屋市立大学高等教育院教授
・奈良大学特別教授)

城郭ほか監修… 乗岡 実 氏(考古学研究者 就実大学・岡山理科大学非常勤講師)

4 その他

・岡山城天守1階の壁面(縦2.2m×横8m)で上映

・動画の視聴には、天守入場料が必要 大人(15歳以上) 500円 中学生以下は無料

・令和8年度には、この動画による情報発信を行うほか、新たに岡山城周遊体験型のデジタルコンテンツを制作していく予定です。

【問い合わせ先】

岡山市 観光振興課 新居田・田中 直通086-803-1332 内線4530・4533